

感染症対策のための改修実施時に利便性も向上



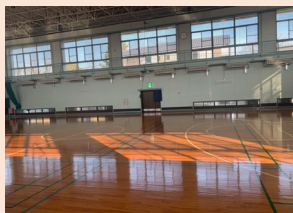
**所有** 佐賀県（所管課：スポーツ課）  
**運営** 佐賀県パラスポーツ協会  
 ☎ (0952) 24-3809 FAX (0952) 24-3818

**■所在地**  
 ・佐賀県佐賀市天祐1丁目8-5  
**■アクセス**  
 ・JR佐賀駅より徒歩20分

DATA

- 竣工
  - ・1983年
  - ・2021年一部改修
- 規模
  - ・延床面積 7698.93 m<sup>2</sup>
- 改修費
  - ・64,067千円
  - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

■主な設備



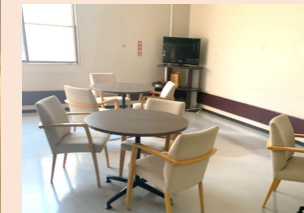
体育館  
バスケットボール1面分



教育文化室

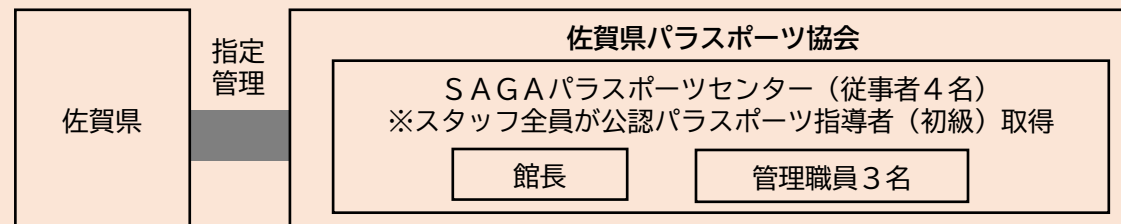


多目的ホール



コミュニティスペース

■体制図



改修のための構想・計画

○安全・安心して施設利用の促進に向けて

■施設の老朽化等への対応

- ・1983年竣工と古い施設のため、アスベスト対策や、体温調整が難しい人のための冷暖房設置といった安全性確保のための改修を随時実施してきた。
- ・そうした中、老朽化に加え、2020年の新型コロナウイルス感染拡大により施設として感染症対策の必要性が高まった。

<トイレと更衣室の課題>

- ・床がタイル地であったため菌や臭いが残りやすい
- ・個室が狭いため利用者が壁に触れ、不衛生である など

- ・コロナ禍においても、誰もが安全安心にスポーツ活動を実施できるようにすることを念頭に、利用者の利便性向上も図りレイアウトから見直して改修を実施することとした。

■全国障害者スポーツ大会に向けた機運醸成

- ・佐賀県では「SAGA2024全障スポ」が2024年に開催される。パラスポーツの活動拠点である本施設において、パラスポーツに取り組む選手の練習会場や、パラスポーツの普及教室等に活用していくために、施設の安全性と利便性を改善する必要があった。

- ・そのため、トイレと更衣室の改修、競技用具の購入・整備を進めた。



○多くの利用者が快適に施設を利用することができる改修の実施

■衛生面の向上による感染症拡大防止

- トイレと更衣室の床をタイルから乾式に
  - ・臭いがなくなり見た目も清潔に、雰囲気も明るくなった。
- 個室拡大
  - ・標準的なトイレの個室の広さも十分となり、利用者の衛生面も改善。また、車いす利用者が標準トイレの個室とシャワーブースを使えなかったが、改修時に広く改修し、利用可能となった。



■使いやすさの向上

- 各個室の認識しやすさ向上
  - ・トイレと更衣室の場所が分かりづらかったが、改修時にユニバーサルカラーによる色分け、音声案内も設置、利用者が場所を認識しやすくなった。



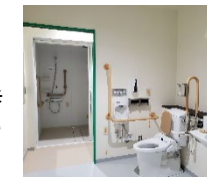
●利用者の不安解消

- ・トイレ奥まで手すりを設置、身体障害者や高齢者も安心。
- ・車いす用のキックガードを設置し、利用者の安全性確保、傷をつける不安解消。



●多機能トイレを男女トイレから独立

- ・男女トイレの中にあった多機能トイレを独立して2か所設置。そのうち1つの中にはシャワー室を設置し、異性介助で一般更衣室が利用できない方にとっての利便性向上。



管理・運営

○パラスポーツの普及拠点へ

■公認パラスポーツ指導員資格を有するスタッフを配置

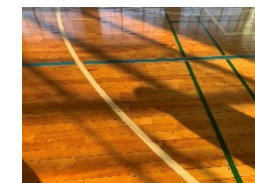
●利用者への自主的な声掛け

- ・来館してもらうためにはスタッフが利用者のことを理解することが重要と考え、利用者を名前で呼ぶなど積極的な声掛けを実施している。

■スタッフの手入れで誰もが気持ちよく使える施設に

●毎日のメンテナンスで体育室の床もきれいに保つ

- ・車いす競技では、体育室の床にタイヤ痕が残ることもあるが、毎日のモップがけできれいな状態を維持し、傷が付きにくくなるように月に1度のワックスがけを行うことで、いつでも利用者が気持ちよく使えるよう心掛けている。





トイレ

▶ 利用者の安全・安心を追求した改修の実施

表示が小さく、入口の場所がわかりづらく、利用者自身で見つけにくかった。

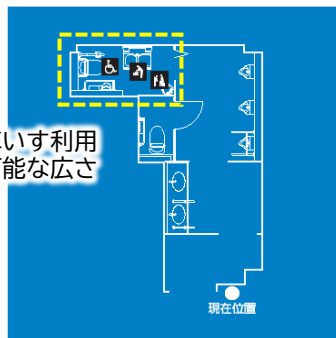
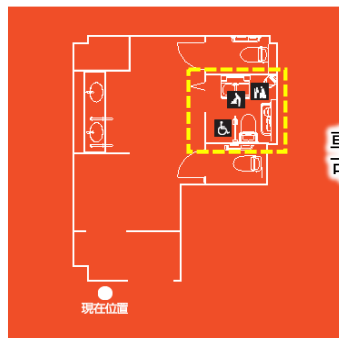


音声案内に加え、入り口部分にユニバーサルカラー（赤（女性）、青（男性）、緑（多機能））を用いて、トイレの位置を大きく、わかりやすく表示。

車いす利用者にとって使えるトイレの選択肢が少なかった。



男女トイレの中にも、車いすで入れる大きさの個室をひとつずつ設置。



車いす利用可能な広さ

押すのが苦手な人もいれば、引くのが苦手な人もいます。



標準トイレ内の多目的トイレのドアは押しても引いても開けられる仕様。



男性トイレの中にもサンタリーボックスを配置。

体育室

※感染症対策のため体育室は必ず室内シューズは着替えを実施

靴を何度も脱ぎ履きするのが大変な人もいます。



土足禁止の体育館からトイレに行きたい人のために、内履きのまま履けるスリッパを用意。

バレーボールコート of 設営が大変。



カーボン製で通常より軽い支柱を購入し、設営労力を軽減。設営の際はスタッフもサポート。

運動中等、体温調整が難しい利用属性がいる。

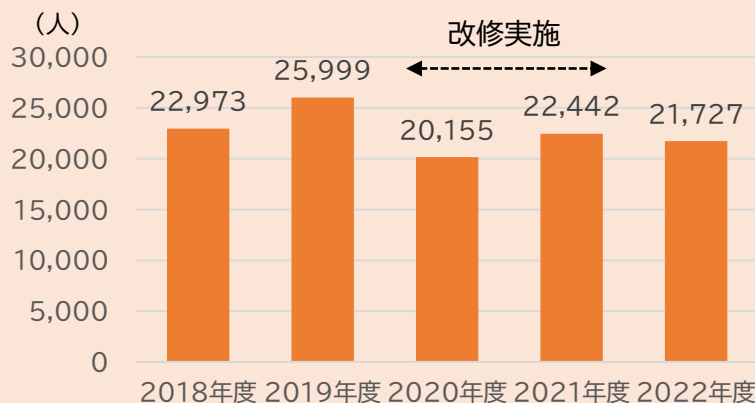


誰もが快適に運動できるよう、体育室内に、エアコンを設置。

利用者現状

利用人数

- ・ コロナで利用を自粛する人が多かったため、利用者は特に増えてはいないものの、使いやすいという声は多い。
- ・ 障害者と一般の利用比率はおおよそ 8:2



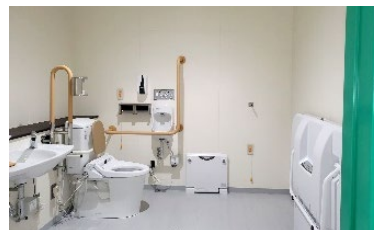
※2022年度は2022年4月～2023年1月実績

多機能トイレが男女トイレ内にあり、利用する際、入りづらかった。



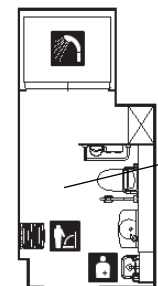
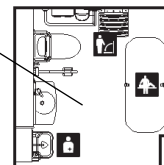
廊下から直接入れるよう改修。ドアも自動ドアの非接触で安全性を確保した引き戸とし、車いすでも利用しやすい環境に整備。

【2種類の多機能トイレ】



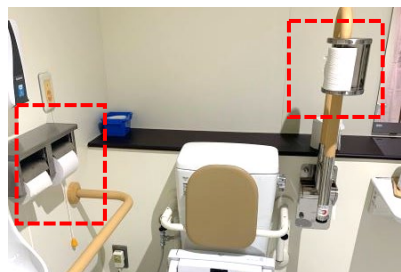
介護ベッドあり

左右対称の手すり配置



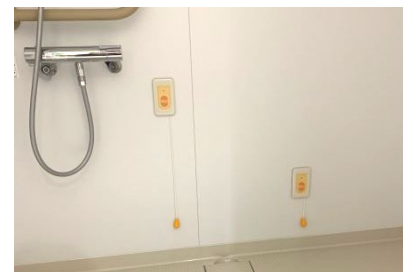
シャワーブース、更衣スペースあり

半身まひの人にとってはペーパーホルダーが片側だけでは使いづらい場合がある。



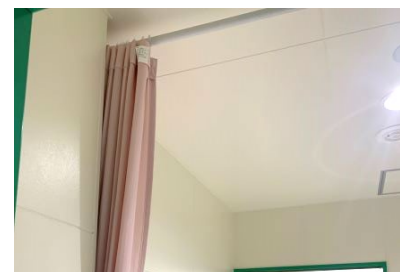
固定式と反対側の可動式手すりにペーパーホルダーを設置。利用者が使いやすい方を選択可能。

シャワー室内で倒れた際、緊急ボタンに届かず助けを呼べない可能性がある



倒れたてている人が届く高さとなるよう、実際に横になる等適当な位置を検証し、設置。

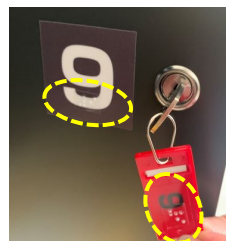
介助者と一緒にいる場合、介助者の目が気になる（特に異性介助）。



後付けでカーテンを設置し、必要に応じてプライバシー確保を実現。

更衣室

視覚障害者は、自分のロッカー場所が認識しづらい。



ロッカーの番号札とロッカーキーに点字を付設。



左右のシャワールームを左右対称の設計とし、利用者の状況に応じて選択可能。

効果

- ・ トイレがきれいであるか否かはその施設に行こうという気持ちを左右する。トイレがきれいだと安心して行こうと思ってもらえるため、その点で喜んで使ってもらえる施設になった。
- ・ 身体障害者にどんどん使ってもらったが、施設側としても自信を持って、そう言えるようになった。

利用者Voice

- ・ 広がって車いすでも使いやすくなった。
- ・ 手すりの色がはっきりとしたことで、弱視の自分にも分かりやすくなった。
- ・ 明るく清潔なトイレ。それだけで使いたくなる！
- ・ 多機能トイレの中にシャワー室があるのが画期的！